第14回厚生文教常任委員会会議記録

開閉会日時	令和7年1月29日（水曜）	午前 9時30分 開会	
	休 憩 10:07-08 10:34-50 11:08-09		
		午前11時28分 閉会	
	休憩時間：0時間18分	会議時間：1時間40分	
会議場所	3階委員会室		
出席委員氏名	委員長 中村 和宏	委 員 立川 美穂	
	副委員長 中田智恵子	委 員 堀切 忠	
	委 員 鈴木 健充	委 員 小笠原 等	
	委 員 早苗 豊	委 員 伊藤 稔	議 長 梶澤 幸治

説明員				
	子育て支援課長	佐々木雅之	保健推進係長	吉川 泰子
	課長補佐	山田 陽子	保健推進係主査	中元 麻実
	子育て支援センター長	阿部 弘美	高齢者支援課長	久保 禎巳
	発達支援センター長	有本 和晃	課長補佐	佐々木博史
	保育所長	河原崎由香里	課長補佐	高谷真理子
	子育て支援係長	喜多 雅人	介護保険係長	稲田 穏香
	健康福祉課長	森 真由美	介護予防係長	竹内 名恵
	課長補佐	上嶌 寛		

参考人			
欠席委員氏名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀	

『会議に付した事件と会議結果など』

1　開　会

　委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2　議　件

（1）調査事項

ア　第3期芽室町子ども・子育て支援事業計画（芽室町こども計画）（案）について

資料1-1～1-3

・子育て支援課長：課長補佐から資料の説明をする。
・課長補佐：資料説明（「資料1-1：概要版」）
・委員長：意見・質疑はないか？
・立川委員：合計特殊出生率について、町の具体的な取組策とは？
・課長：個々の具体ケースに対して、直接的に出産環境を支援する手法ではなく、子どもを産み育てる環境を町全体でトータル的に整えていくことで、目標を達成しようとする趣旨である。

・立川委員：他課との連携は計画に反映されているのか？
・課長：地方創生及び男女協働参画など様々な施策との兼ね合いがあることから、適宜連携を図り計画反映に努めている。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ　令和７年度子育て支援課所管事業について　　資料 2-1～2-4
・子育て支援課長：調査事項概要説明
・課長補佐：「資料 2-1」説明（「病児保育利用料金補助金・保育人財確保対策事業補助金（保育事業）」）
・子育て支援係長：「資料 2-2～2-4」説明（「子育て世帯訪問支援事業（児童福祉支援事業）」「産婦健康診査費用助成（妊婦等相談・支援事業）」「１か月健康診査費用助成（乳幼児健診・相談事業）」）
・委員長：「資料 2-1」について、意見・質疑はないか？
・堀切委員：町内における病児保育の検討状況は？
・課長：病後児保育の実施事業者に対して、新たな事業として病児保育の実施を打診してきているが、物理的に施設整備の課題があったり、保護者等に対してニーズを確認すると、病児保育に求める条件が多岐（かかりつけ医への併設等）にわたり、町内設置が最優先条件でないとみなせることから、間接的な支援として、町外等への施設利用料助成を主眼に置いて検討を継続しているところである。
・立川委員：保護者等へのニーズ調査とは？具体的に？
・課長：町職員に対しては男女ともに調査し、子育て支援センターにおいては、育児休暇中の保護者を中心にアンケートを実施した。
・立川委員：町内における病児保育の施設設置について、今後も実現はないのか？
・課長：現行の実態と課題を冷静に客観的に判断しながら、検討を進めていきたい。
・中田委員：町外施設利用者に対して、利用料全額助成については評価する。ただし、自宅から最寄りの場に病児保育の機能があることを望んでいる声はある。現時点では、町内医療機関に併設された機能確保は困難であるという見解か？
・課長：公立芽室病院においては、様々な課題があり困難と判断している。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：「資料 2-2」について、意見・質疑はないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：「資料 2-3」について、意見・質疑はないか？
・立川委員：産婦健診費用の助成の目的は？このような検診については、対象者が当然のごとく自己責任で受診すべきものと考えるがいかがか？
・課長：産婦健診は自己負担となる。細かな受診率は把握していないが、受診されていない対象も存在することは認識している。経済的理由により受診を控えなければならない事案もあることから、経費助成の視点も当然あるが、そのことよりも未受診

の産婦が助成対象となることで、町が健診結果を把握することができ、その後のフォローにもつながることから、総合的な健康管理につながる事業と捉えているものである。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：「資料 2-4」について、意見・質疑はないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ　重層的支援体制整備事業について　　資料 3-1～3-5
・健康福祉課長：調査事項概要説明
・課長補佐：資料説明（「１：事業の背景」「２：地域共生型のイメージ」「３：重層的支援体制のイメージ」「４：重層的支援体制整備事業の内容」「５：芽室町の取組」）
・委員長：「資料 3-1」について、意見・質疑はないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：「資料 3-2」について、意見・質疑はないか？
・立川委員：例えば、障がいをお持ちの高齢者に対しての支援はあるのか？
・課長補佐：既存の体制を優先し、それを踏まえて、いっそうの関係機関連携を図って様々な事例に対応していこうとするものである。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：「資料 3-3」について、意見・質疑はないか？
・早苗委員：行政の新たな体制は理解するが、相談者側にとって、相談窓口に簡易かつ迅速にたどり着く手法の工夫はＡＩ等新たにあるのか？
・課長補佐：AI の活用まで現時点では検討していないが、担当者間の連携強化により、相談者の困りごとに対処していこうとするものである。
・堀切委員：基幹相談支援センターの位置付けは？
・課長：基幹相談支援センターは、あくまでも「障がい者」の支援機関として位置付けているものである。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：「資料 3-4・3-5」について、意見・質疑はないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ　高齢者予防接種事業について　　資料４
・健康福祉課長：調査事項概要説明
・保健推進係長：資料説明（「１：定期接種の位置付け」「２：ワクチン接種」）
・委員長：意見・質疑はないか？

・中田委員：自己負担予定は？
・保健推進係長：接種費用の５割相当を予定している。
・中田委員：１万円～４万円ほど幅のある接種費用と認識している。半額助成は有効な策と考える。対象年齢が５歳刻みについて、町民周知の工夫は？
・保健推進係長：同様の助成基準である肺炎球菌ワクチンの例を踏まえて、同様に丁寧な周知に努めたい。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「エ」を終了する。

オ　西十勝介護認定審査会事務におけるペーパーレスシステム導入について　資料５
・高齢者支援課長：調査事項概要説明
・介護保険係長：資料説明（「１：課題」「２：対策」）
・委員長：意見・質疑はないか？
・鈴木委員：審査会委員の反応は？
・介護保険係長：反応は良い。具体的なことはこれから。
・中田委員：現行では申請から認定までの期間は？短縮効果は？
・介護保険係長：30 日以内を目指すものだが、現行 35 日ほど要している。
・立川委員：清水・新得も同様に経費負担するのか？
・介護保険係長：各町で負担しようとするものである。
・立川委員：タブレットは常時審査会員に貸与するものか？
・介護保険係長：お見込みのとおり。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「オ」を終了する。

カ　地域包括ケアシステム推進事業について　資料６
・高齢者支援課長：調査事項概要説明
・課長補佐：資料説明（「１：目的」「２：事業内容」）
・委員長：意見・質疑はないか？
・立川委員：現状として、捉えている本町の課題は？
・課長補佐：高齢者を中心とした従来の取組みを、人口構造の変化に応じた取組み（生産年齢人口への対応を意識）に変化させなければならない点である。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「カ」を終了する。

キ　介護予防教室開催事業について　資料７
・高齢者支援課長：調査事項概要説明
・介護予防係長：資料説明（「１：目的」「２：実施内容」）

・委員長：意見・質疑はないか？
・中田委員：事業目的に「無関心層の高齢者に対する効果的なフレイル予防の検討」とは？
・介護予防係長：ウォーキング等を促すアプリの導入等を考えている。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：以上で調査事項「カ」を終了する。

・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「ア」及び「イ」について、自由討議はないか？
・中田委員：調査事項「ア」について、「子ども向け」の意見聴取もある。当該計画に意見反映される要素があるなら、追加調査すべきと考える。
・立川委員：上美生保育所の今後のあり方について、追加調査すべきと考える。
・委員長：他にないか？
・（なし）
・委員長：お二方の意見を踏まえて、継続調査することとし、調査事項「ア」及び「イ」の自由討議を終了する。

・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「ウ」及び「エ」について、自由討議はないか？
・（なし）
・委員長：調査事項「ウ」及び「エ」の自由討議を終了する。

・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「オ」～「キ」について、自由討議はないか？
・早苗委員：「地域包括支援システム推進事業（調査事項「カ」）」及び「重層的支援体制整備事業（調査事項「ウ」）」については、町全体として重要なしくみである。しかしながら、ほとんどの住民にとっては、その認知・認識度は決して高くないと考えることから、この視点で実態調査をするなど、委員会の調査は必要と考える。
・（なし）
・委員長：調査事項「オ」～「キ」の自由討議を終了する。

3　その他
（1）次回委員会の開催日程について
・日　時　令和７年１月31日（金）午後１時３０分

（2）その他
・委員長：委員各位からないか？
・（なし）

・委員長：議長からないか？
・（なし）
・委員長：事務局からないか？
・（なし）

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	０名	報道関係者	２名	議　員	２名	合計	４名

令和７年１月 29 日

厚生文教常任委員会委員長　中　村　和　宏